



おのれを定むるは  
しるすに成るは  
本心は、おのれを  
悟りて、おのれを  
主とすべし。おのれを  
しるすに成るは  
下句の、おのれを  
しるすに成るは  
おのれを、おのれを  
しるすに成るは  
おのれを、おのれを  
しるすに成るは  
おのれを、おのれを  
しるすに成るは  
おのれを、おのれを  
しるすに成るは  
おのれを、おのれを  
しるすに成るは



魚田宗言ハ任ハ貴ハ翰  
年テ極ニ結ニ掃ハ及  
海共古直踏下新力

月計時春六之等請  
商日加年二下子娘以須  
健古教念心心子上宗毛

本月上旬急起程之積登  
政公也信句見叔整因在念見  
教日時之弟弟不得止及期未

元中句上途下句必為為  
弟久根の道一別橋上控也合  
教の下お其社年一向和子計

也時多候ケお法三花梅社  
之時香不是長柳橋新  
得の想之博一夢也也乙  
とら何事も春有年不二

二月十日 高城精

照谷老其子

也す序大興公子真也乙  
弟兼辭職心の也乙  
一乙

